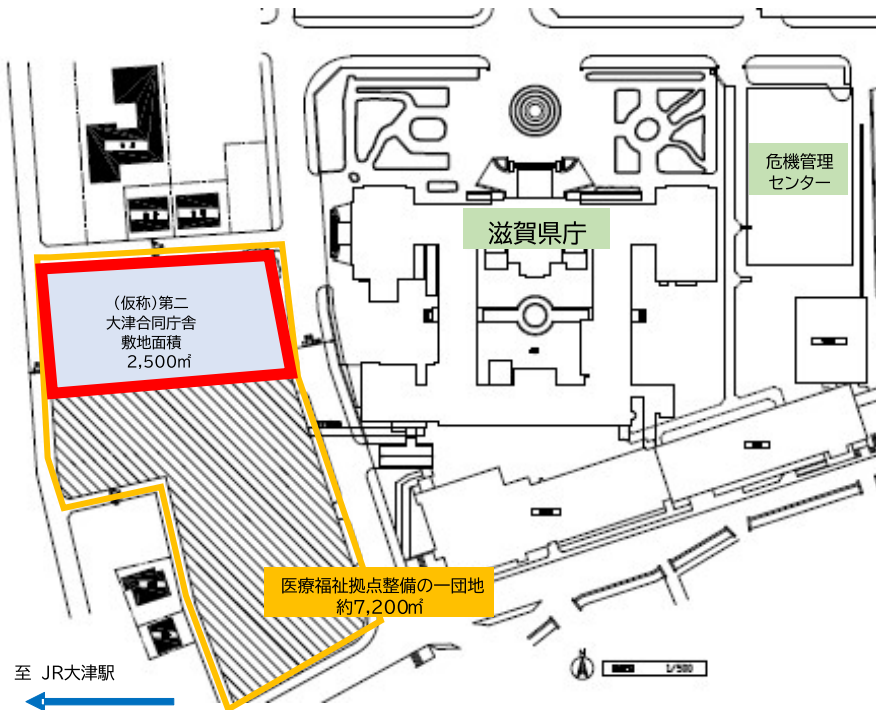


(仮称) 第二大津合同庁舎の概要

(1) 整備方針

①立地場所

- 医療福祉拠点事業地の北側2,500㎡



②目指す姿と整備方針

	目指す姿(機能)	整備方針
1	多様な医療福祉専門職の連携強化・人材育成	- 日常的な交流空間 - 用途に応じた分割可能な会議室
2	住民との双方向性を備えた情報発信・交流	- 相談機能の集約 - 国内外の健康危機管理事案に関する情報発信や医療福祉分野の支援活動を紹介する展示
3	災害対策における多職種間連携	迅速な復旧復興に取り組める建物の性能・機能

	目指す姿(機能)	整備方針
4	多団体の事務所機能の集約	医療福祉関係団体の事務所集約
5	健康危機管理事案発生時の司令塔	健康危機管理課執務室やコントロールセンターなど
6	パスポートセンター	- 妊婦、幼児連れ、障害者に配慮したファーストレーンの導入 - 電子申請に対応した施設整備

(2) 整備概要

①規模

- 建築面積 約1,300㎡、延床面積 約6,900㎡、地上6階 高さ約30m

②構造

- 上部構造 プレキャストコンクリート造 一部 鉄骨造(耐火構造)
- 下部構造 免震構造
⇒ 地震災害時にも地震力を逃し、計画建物への影響を最小限に抑制する

③環境に配慮した施設（ZEB Ready）

- 効率的な日射遮蔽と取込みのため、外装材に横ルーバーを設置する
- LED照明、節水型トイレ、人感センサーによる節電、節水機能設備や太陽光発電設備を導入する

④木のぬくもりを感じる施設

- 外装材の横ルーバーなどの施設の顔となる部分に県産木材を活用し、魅力を発信する
- 県民利用が多い1階の空間や什器などを中心に県産木材を活用する

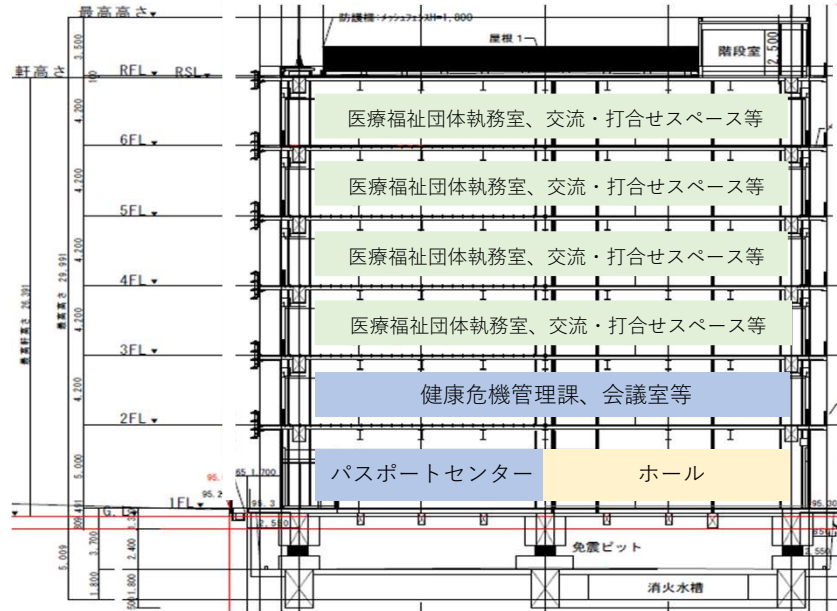
⑤ユニバーサルデザインを取り入れた人にやさしい施設

- 駐車場から出入口、階段、廊下、スロープ、トイレ、昇降機、案内サインに至るまで、細やかな配慮を行う
- 誰もが利用しやすい施設とする

(3) その他

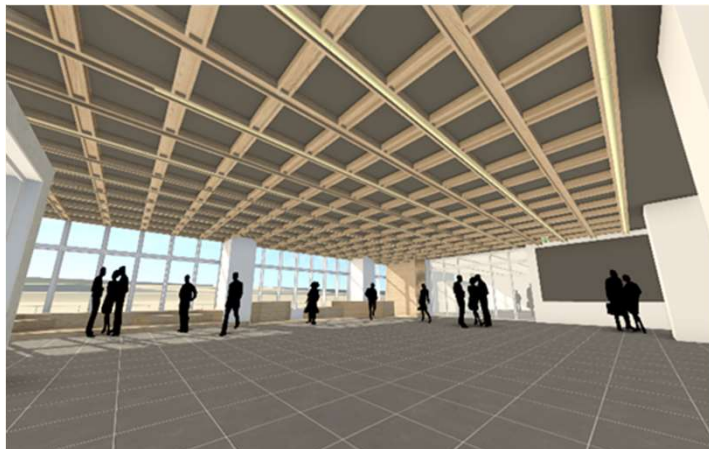
①断面計画

- ・ 1階には県民利用施設(パスポートセンター、ホール)を設置
- ・ 2階には健康危機管理事案対応施設を集約化(平常時は会議室として利用)
- ・ 3階以上には団体の事務所機能を集約化し、交流・打合せスペースを設置



②内観

- ・ 1階ロビーは、内装や什器に県産木材を積極的に活用するほか、各エリアが見渡せるような視認性の高い空間を計画



③外観

- ・ 木材活用を表出するため、横ルーバーの軒裏に県産木材を活用
- ・ 県庁本館や新館との調和から、茶色や白色を基調とした色調
- ・ 横ルーバーによる日射の有効な遮蔽と取込み、眺望との両立



(4) 入居団体（予定）

団体名等
(一社)滋賀県医師会
(公社)滋賀県理学療法士会
(一社)滋賀県作業療法士会
滋賀県言語聴覚士会
(特非)滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会
(一社)滋賀県歯科医師会
(公社)滋賀県栄養士会
(一社)滋賀県薬剤師会
(一社)滋賀県病院協会
(公社)滋賀県柔道整復師会
(一財)滋賀県遺族会
(公財)滋賀県消防協会
(一社)滋賀県防火保安協会連合会
滋賀県介護支援専門員連絡協議会
(一社)滋賀県歯科衛生士会

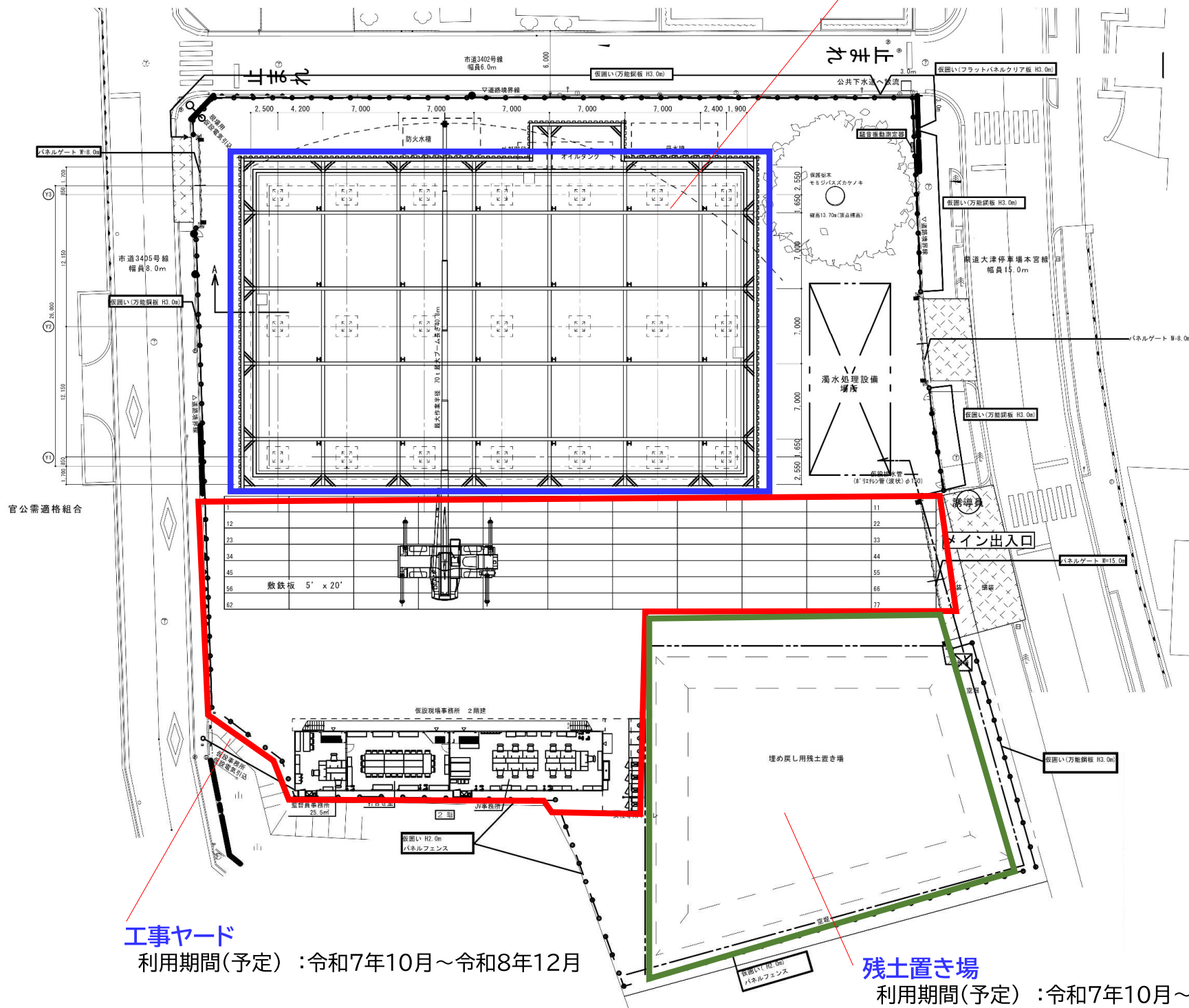
団体名等
(一社)滋賀県歯科技工士会
(公社)滋賀県臨床検査技師会
(公社)滋賀県診療放射線技師会
(公社)滋賀県臨床工学技士会
(一社)滋賀県鍼灸師会
(特非)滋賀県難病連絡協議会
(公社)滋賀県看護協会
滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会
(一社)滋賀県助産師会
滋賀県がん患者団体連絡協議会
(社福)滋賀県共同募金会
滋賀次世代文化芸術センター
(公社)滋賀県手をつなぐ育成会
(公社)おうみ犯罪被害者支援センター
(公財)滋賀県国際協会
滋賀県健康医療福祉部健康危機管理課
滋賀県パスポートセンター

(5) 工程表（予定）

年 度		R 7					R 8												
月		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
建築	杭工事																		供用準備
	免震・基礎工事																		
	上部躯体工事																		
	仕上工事																		
	外構工事																		
設備																			

(6) 工事ヤードなど

(仮称)第二大津合同庁舎



滋賀県庁

工事ヤード

利用期間(予定) : 令和7年10月～令和8年12月

残土置き場

利用期間(予定) : 令和7年10月～令和8年4月